

## 26 医療安全管理部

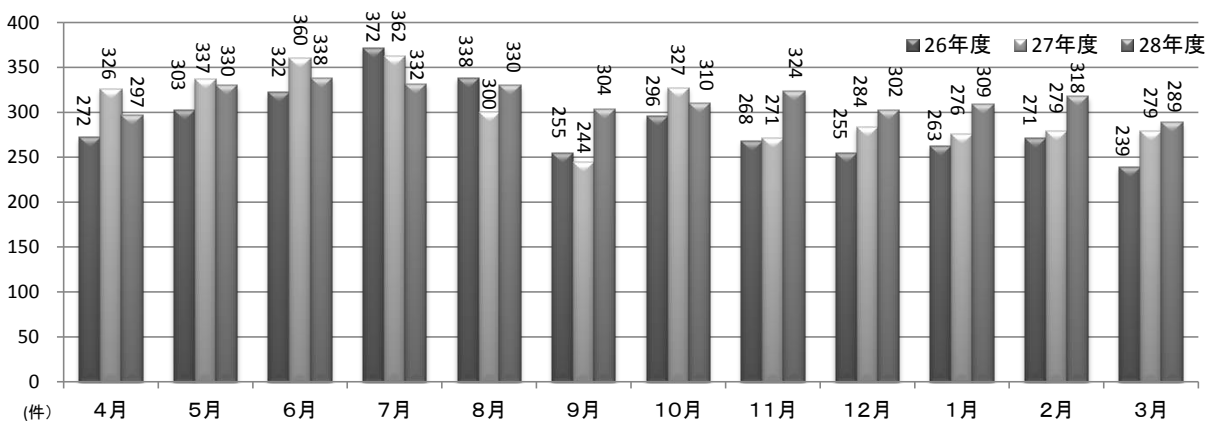


医療安全管理部では、医療事故防止のためのマニュアル作成、事故対応、事故報告やインシデント報告の分析と改善策の実施、医療安全情報の提供などの業務を行っている。

28年度インシデント報告件数は、昨年度から135件増加の3,783件であった。年々増加してはいるが、当院の規模ではインシデント件数は4,000～4,500件が望ましいとのことであり、より一層の報告奨励が必要である。報告することが背景要因の分析、再発防止の徹底につながるという医療安全の啓蒙活動が浸透してきた表れとして、「0レベル」報告奨励に取り組んでいる部署が複数あった。報告内容は例年同様、処方・与薬に関するものが最も多く、次いで療養上の世話・療養生活の場面に関するもの、ドレーン・チューブ類の使用管理が多くなっている。処方・与薬関係のインシデントは手順の省略・不遵守（確認行動の省略・未実施）により起こっているのが大多数である。基本に基づいたマニュアルの徹底の継続的な指導が必要である。『相互確認』の重要性及びその徹底を継続的に指導していく必要がある。医師からの報告件数は、全体の10%を目標にはいるものの例年同様5%にとどまっている。今後も医師の報告件数増加への取り組み、医学生の医療安全ラウンド参加、研修医の会議参加を継続強化していく。また、医療事故調査制度や、特定機能病院の要件見直し等に対応し、院内死亡患者届出、M&Mカンファレンス開催等に取り組んでおり、今後も推進していく。

医療安全管理部は、各部署の業務が円滑に行えるよう支援できる部門でありたいと考え、職員に身近に感じてもらえる部署であるように努めていきたいと考えている。

### 26-1 年度別・月別インシデント報告件数の推移



### 26-2 年度別・内容分類別インシデント報告件数

(件)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
処 方 ・ 与 薬	821	890	1,090	1,156	1,253	33.1
ドレーン・チューブ類の 使 用 ・ 管 理	580	612	720	657	697	18.4
療養上の世話・療養生活の場面	542	568	772	771	769	20.3
オ ー ダ ー ・ 指 示 出 し 情 報 伝 達 過 程 に 関 する 項 目	147	157	-	-	-	-
検 査	197	240	362	389	372	9.8
診察、手術、麻酔、出産、その 他の治療、処置に関する項目	154	229	256	231	294	7.8
給 食 ・ 栄 養	73	101	-	-	-	-
医療機器等の使用・管理	60	82	111	151	165	4.4
調 剤 ・ 製 剤 管 理 等	58	97	-	-	-	-
輸 血	31	35	27	27	20	0.5
患 者 ・ 家 族 へ の 説 明	31	54	-	-	-	-
診 療 情 報 管 理	44	79	-	-	-	-
施 設 ・ 設 備	4	2	-	-	-	-
放 射 線 管 理	1	-	-	-	-	-
そ の 他	2	-	116	263	213	5.6
合 計	2,771	2,745	3,146	3,645	3,783	100.0

※26年度より項目変更あり